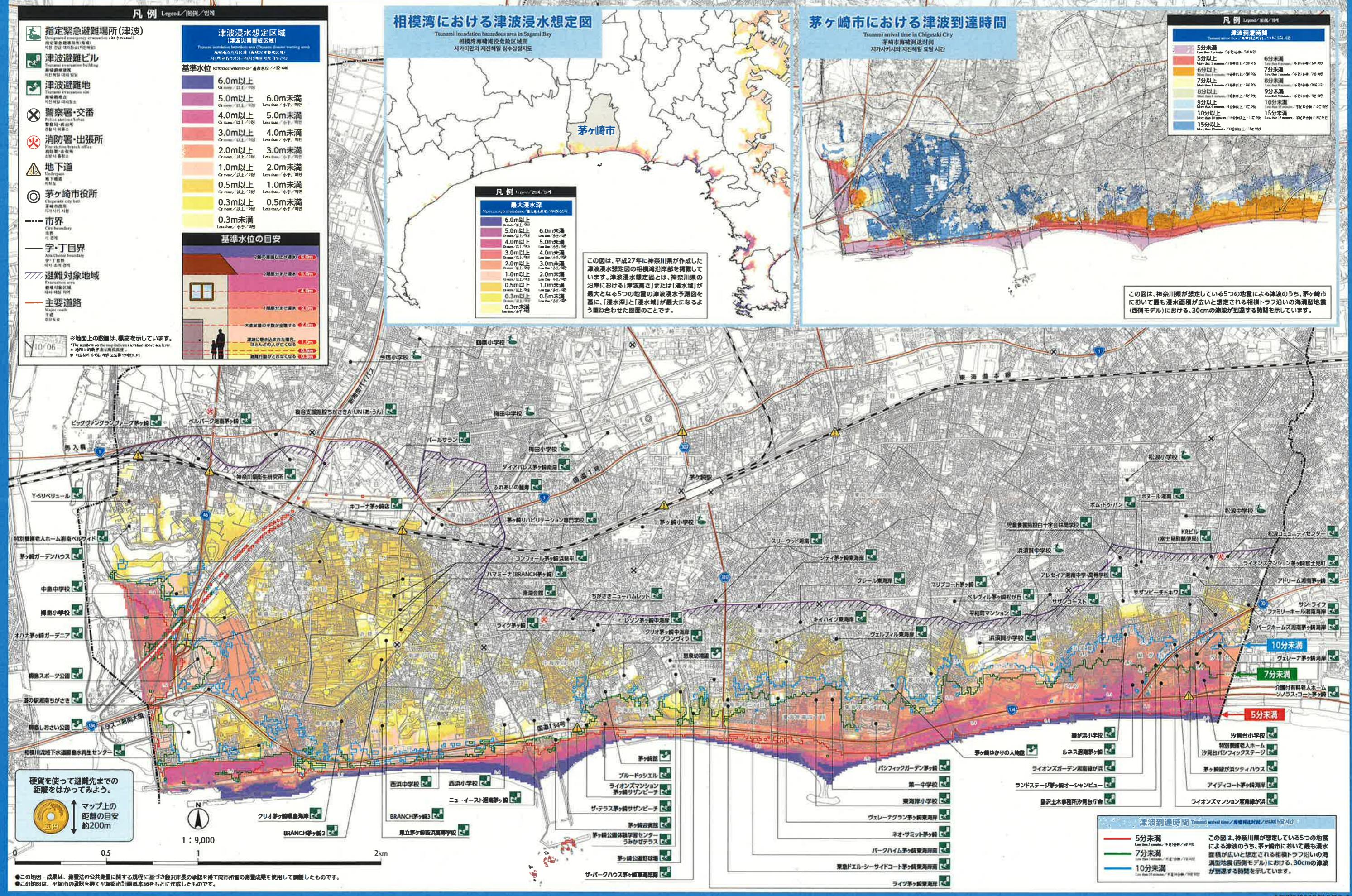


茅ヶ崎市津波ハザードマップ

茅ヶ崎市津波ハザードマップは、神奈川県が公表した基準水位（浸水深に津波が建物等に衝突した際のせり上がり高を加えた水位）を基に、茅ヶ崎市における津波の危険性を示したもので

基準水位によって津波から避難する際の安全な高さが明確になり、より適した避難先を判断することができます。津波に関する知識や避難の心得などを理解して、災害時の適切な避難行動に繋がるようご活用ください。

CHIGASAKI CITY TSUNAMI HAZARD MAP／茅崎市海啸防灾地图／지가사키시 지진해일 해저도



茅ヶ崎市 津波 ハザードマップ CHIGASAKI CITY TSUNAMI HAZARD MAP

もしもの「備え」と生き残る「覚悟」

平時から避難先や避難経路などを確認して備えよう

くらし安心部防災対策課 電話：0467-81-7127

4 ハザードマップの使い方

[STEP1] 自宅付近の状況を確認する

自宅周辺の標高や基準水位、津波到達時間を事前に確認します。

[STEP2] 避難先を決める

避難先は、避難対象地域内に長時間取り残されるなどのリスクを避けるため、原則として「避難対象地域外へ出ること」を優先して決めます。しかし、津波が始まるまでに「避難対象地域外へ出ること」が困難な場合は、避難対象地域内の津波避難ビルなど高い場所を選定します。

日々のうちに、津波到達時間を目安に、避難先にたどり着くまでの移動距離と所要時間を探り、いざというときの避難先を事前に考えておきましょう。



[STEP3] 避難経路を決める

避難経路は、地下道や地震時に家屋倒壊により通行不可能となるおそれのある場所など、危険な箇所を避けて決めます。

最短経路だけではなく、複数の経路を考えておくことが重要です。



[STEP4] 避難行動を確認する

実際に避難経路を歩いてみて、危険な箇所が無いか、夜に停電しても通れるかなどを家族や知人などと一緒に確認しておきましょう。



1 はじめに

自助・共助・公助の取組

防災・減災対策の基本は、自分や家族の命を守る「自助」、地域で助け合う「共助」、行政が取り組む「公助」をバランスよく組みしていくことです。

防災力の向上には、皆さん一人一人の防災意識を高めることができます。

自助

「自分の命・財産は自分で守る」



共助

「隣近所での協力」



公助

「市や防災関係機関が進める災害対策」



津波に備える

津波ハザードマップでは、地図により起こりうる津波の浸水範囲や高さ、避難先などを地図上に示しています。もしものときに少しでも被害を軽減できるよう、日々から想定される災害と被害を知り、対策を考え、できるごとから取り組みましょう。

1 知る



2 見える



3 認える



津波深・基準水位とは

「津波深」とは、津波により浸水が想定される場所の地面から水面までの高さです。
「基準水位」とは、津波深に津波が衝突した際のせり上がり高さを加えた水位です。茅ヶ崎市津波ハザードマップでは「基準水位」を掲載しています。



5 津波避難に関する情報

大津波警報・津波警報・津波注意報

地震発生後、津波による災害の発生が予想される場合には、大津波警報、津波警報または津波注意報が発表されます。その後、「津波の到達予想時刻」、「予想される津波の高さ」などの津波情報を発表されます。

警報の名称	発表される津波の高さ 動的の高さ (予想される津波の高さ区分)	避難対象・るべき行動
大津波警報	10m (10m×高さ)	巨大 浸水想定区域内やその付近にいる人は、ただちに避難対象地域外へ出走するか、津波避難ビルや津波避難地、安全な高い箇所へ避難する
	10m (5m×高さ10m)	
	5m (3m<高さ≤5m)	
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに海岸や河川から離れ、できるだけ高い場所へ避難する
津波注意報	1m (20cm×高さ≤1m) (便記しない)	海の中や海の近くにいる人は、ただちに海岸から離れる

津波からの避難先

津波から命を守るために、避難対象地域外へ避難することが重要です。避難が間に合わないときや逃れた場合には、津波避難ビルや津波避難地、安全な高い場所へ避難しましょう。



津波避難ビルは、大津波警報が発表されたとき、避難対象地域外へ避難することが困難な場合に緊急または一時的に避難する施設で、市が建築物所有者などと協定を締結しています。避難の手順は次のとおりです。

●エントランス(出入口)にオートロックがない場合、そのまま入る。
●エントランス(出入口)にオートロックがある場合、住人もしくは管理人などにオートロックの解錠を依頼して入る。
●緊急避難の際に発生した施設及び備品の破損については、協定に基づき市が費用を負担します。

*指定緊急避難場所 (津波)、津波避難ビル、津波避難地は、津波の危険から命を守るために緊急に避難するための一時的な避難場所であり、水や食料などの備蓄はありません。

*津波避難ビル及び津波避難地は、随時、更新します。最新の情報は、市ホームページよりご確認ください。

2 地震の種類や津波の特徴

地震の種類

内陸型地震 (地下型地震)

①どこでおきる?

A. 内陸部の活断層や地盤でおきる地震

②例えばどの地震?

A. 丹南南東部地震 (阪神・淡路大震災)

③特徴はある?

A. 下から引き上げるような大きな断層が伸び、地震が起る

海溝型地震

①どこでおきる?

A. 異なるプレートの境界でおきる地震

②例えばどの地震?

A. 東北地方太平洋沖地震 (東日本大震災)

③特徴はある?

A. 小さな規模だから地震が弱く、大きな地震が繰り返すことがある

B. 大規模な津波が発生することがある

C. 地震の強度が大きい

D. 地震の強度が大きい

E. 地震の強度が大きい

F. 地震の強度が大きい

G. 地震の強度が大きい

H. 地震の強度が大きい

I. 地震の強度が大きい

J. 地震の強度が大きい

K. 地震の強度が大きい

L. 地震の強度が大きい

M. 地震の強度が大きい

N. 地震の強度が大きい

O. 地震の強度が大きい

P. 地震の強度が大きい

Q. 地震の強度が大きい

R. 地震の強度が大きい

S. 地震の強度が大きい

T. 地震の強度が大きい

U. 地震の強度が大きい

V. 地震の強度が大きい

W. 地震の強度が大きい

X. 地震の強度が大きい

Y. 地震の強度が大きい

Z. 地震の強度が大きい

A. 地震の強度が大きい

B. 地震の強度が大きい

C. 地震の強度が大きい

D. 地震の強度が大きい

E. 地震の強度が大きい

F. 地震の強度が大きい

G. 地震の強度が大きい

H. 地震の強度が大きい

I. 地震の強度が大きい

J. 地震の強度が大きい

K. 地震の強度が大きい

L. 地震の強度が大きい

M. 地震の強度が大きい

N. 地震の強度が大きい

O. 地震の強度が大きい

P. 地震の強度が大きい

Q. 地震の強度が大きい

R. 地震の強度が大きい

S. 地震の強度が大きい

T. 地震の強度が大きい

U. 地震の強度が大きい

V. 地震の強度が大きい

W. 地震の強度が大きい

X. 地震の強度が大きい

Y. 地震の強度が大きい

Z. 地震の強度が大きい

A. 地震の強度が大きい

B. 地震の強度が大きい

C. 地震の強度が大きい

D. 地震の強度が大きい

E. 地震の強度が大きい

F. 地震の強度が大きい

G. 地震の強度が大きい

H. 地震の強度が大きい

I. 地震の強度が大きい

J. 地震の強度が大きい

K. 地震の強度が大きい

L. 地震の強度が大きい

M. 地震の強度が大きい

N. 地震の強度が大きい

O. 地震の強度が大きい

P. 地震の強度が大きい

Q. 地震の強度が大きい

R. 地震の強度が大きい

S. 地震の強度が大きい

T. 地震の強度が大きい